



# 2023年3月期第2四半期 決算説明資料

2022年11月15日

ソースネクスト株式会社

# 1. ハイライト

2. 事業の近況

3. 今後の業績戦略

4. 補足資料

## 総括

- ソースネクスト単体は2Q営業利益黒字転換。
- 連結ベースでは以下を主因とし当期純利益が対前期比で減少
  - ✓ 家電量販店における年賀状ソフトの販売方式をPOSAに変更したことによる売上減少
    - ・・・前期比▲336百万円
  - ✓ PC出荷市場の戻りが鈍い影響により当社パソコンソフト販売が落ち込み
    - ・・・前期比▲316百万円
  - ✓ 新製品ローンチやポケットーク社人員増加などによって原価及びSGA増
    - ・・・前期比+146百万円

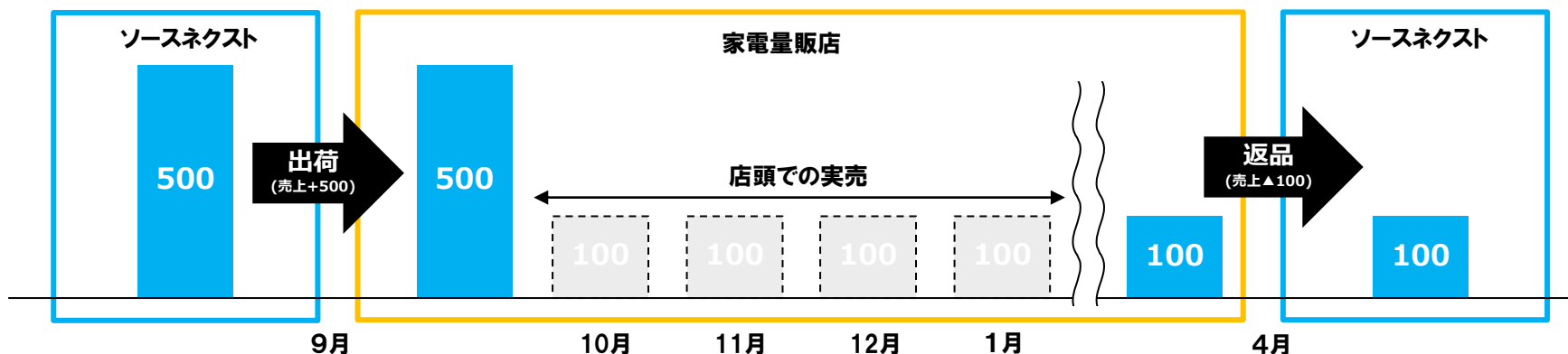
## トピックス

- ポケットーク社累計資金調達額が30.1億円に
- 米国での「ポケットーク」の売上が好調(前期比179%)
- 新製品「ポケットーク同時通訳」の発表
- 「AutoMemo」累計アカウント数40,000アカウント突破

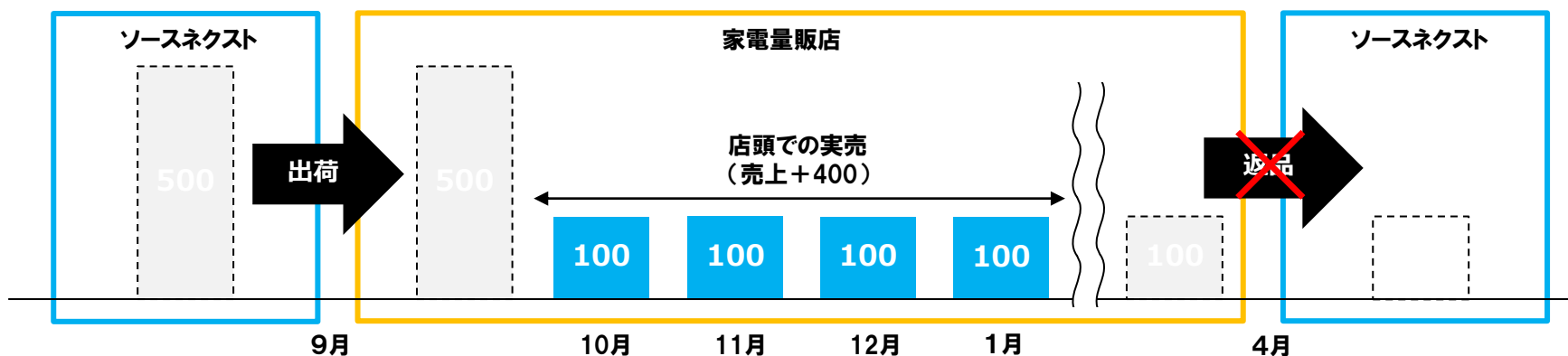
# 年賀状ソフトの販売方式変更

年賀状ソフトの販売方式を、POSレジでの支払い完了時に製品が有効化されるPOSA (Point of Sales Activation) に変更いたしました。その影響で、従来2Qにおける出荷のタイミングで計上されていた売上が、実売に応じて計上される形に変更されました。

## 従来の販売方式










## 変更後の販売方式



## 前期比較 (YoY) PL比較

(単位：百万円)

	2022年3月期 2Q累計	2023年3月期 2Q累計	前年同期比		
			増減金額	増減率	
売上	4,996	4,608	▲387	▲7.8%	
営業利益	▲569	▲1,304	▲735	▲129.1%	
営業利益率	▲11.4%	▲28.3%	-	▲16.9pt	
経常利益	▲512	▲1,120	▲608	▲118.6%	
経常利益率	▲10.3%	▲24.3%	-	▲14.0pt	
四半期純利益	▲413	▲1,063	▲649	▲157.0%	
四半期純利益率	▲8.3%	▲23.1%	-	▲14.7pt	

※ 四半期純利益：親会社株主に帰属する四半期純利益

※ 前期より企業会計基準第29号「収益認識に関する会計基準」を適用しております。

## ソースネクスト単体は、2Q営業利益ベースで黒字化

(単位：百万円)

### 連結

	2023年3月期 2Q累計
売上	4,608
営業利益	▲1,304
営業利益率	▲28.3%
経常利益	▲1,120
経常利益率	▲24.3%

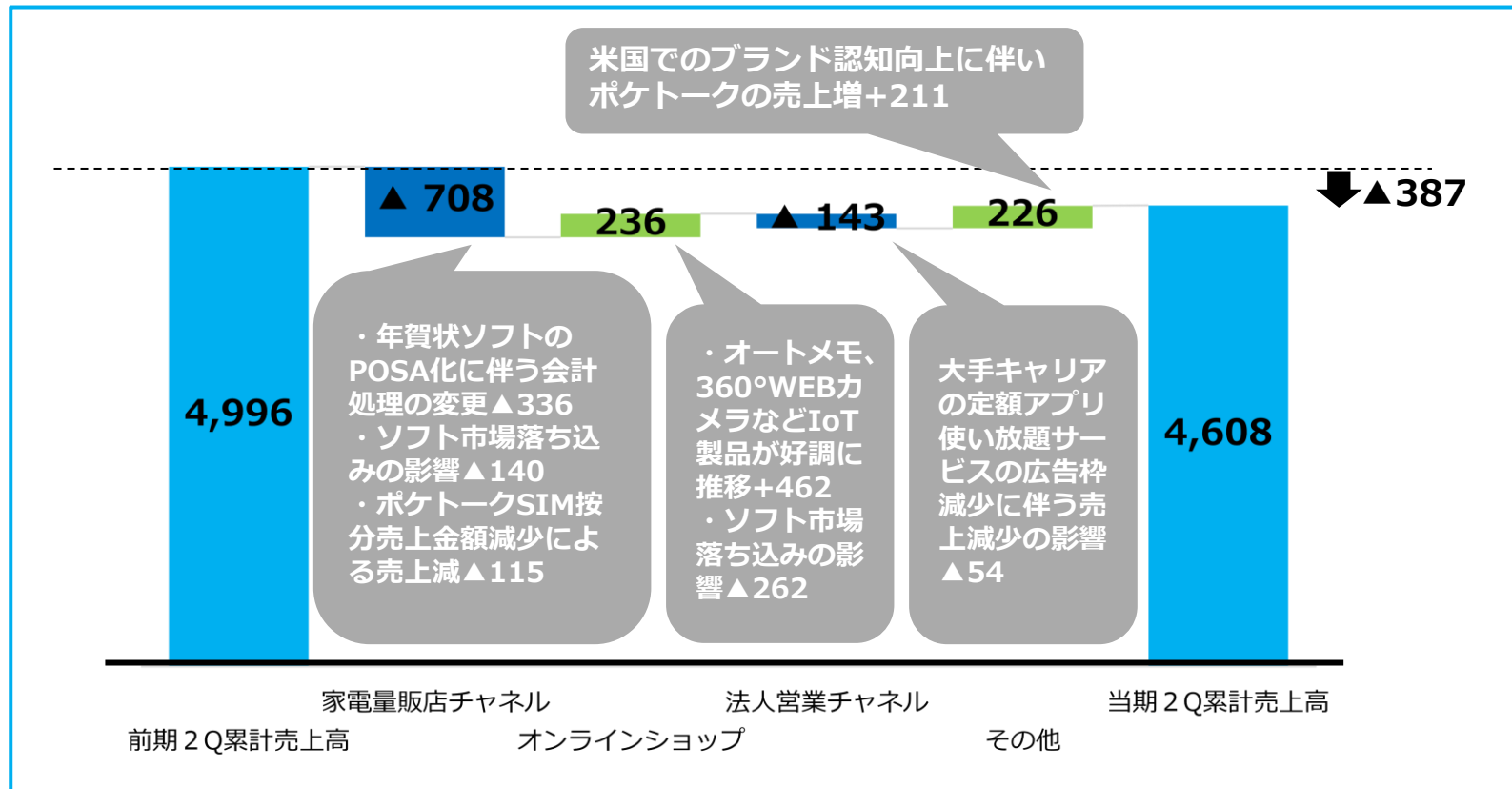
### ソースネクスト単体

	2023年3月期 1Q	2023年3月期 2Q	2023年3月期 2Q累計
売上	1,680	2,226	3,906
営業利益	▲505	22	▲483
営業利益率	▲30.1%	1.0%	▲12.4%
経常利益	▲341	104	▲236
経常利益率	▲20.3%	4.7%	▲6.1%

※ ソースネクスト社の数字は連結会社間の内部取引等を消去した後の金額です。

## 前期比較 (YoY) 売上比較ウォーターフォール (チャネル別)

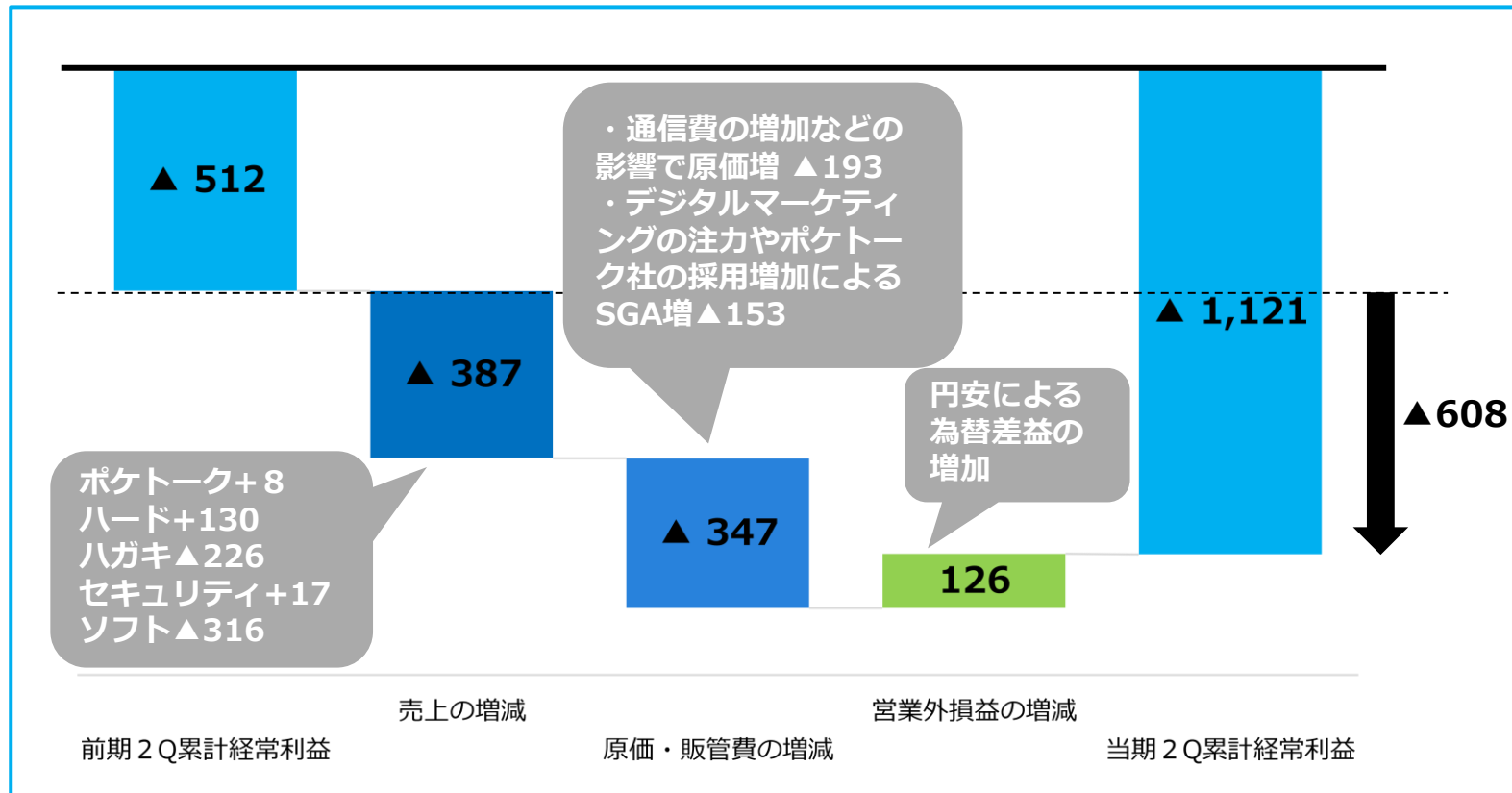
(単位: 百万円)

■ 増加 ■ 減少


## 前期比較（YoY） 経常利益ウォーターフォール

(単位：百万円)

■ 増加 ■ 減少










※ 増加・減少は利益に対しての影響です。



## 四半期比較 (QoQ) 連結PL

(単位：百万円)

	2023年3月期 1Q	2023年3月期 2Q	2023年3月期 1Q比		
			増減金額	増減率	
売上	2,033	2,574	+540	+26.6%	
営業利益	▲909	▲395	+513	+56.5%	
営業利益率	▲44.7%	▲15.4%	-	+29.3pt	
経常利益	▲783	▲338	+444	+56.8%	
経常利益率	▲38.5%	▲13.1%	-	+25.3pt	
四半期純利益	▲750	▲313	+436	+58.3%	
四半期純利益率	▲36.9%	▲12.2%	-	+24.7pt	

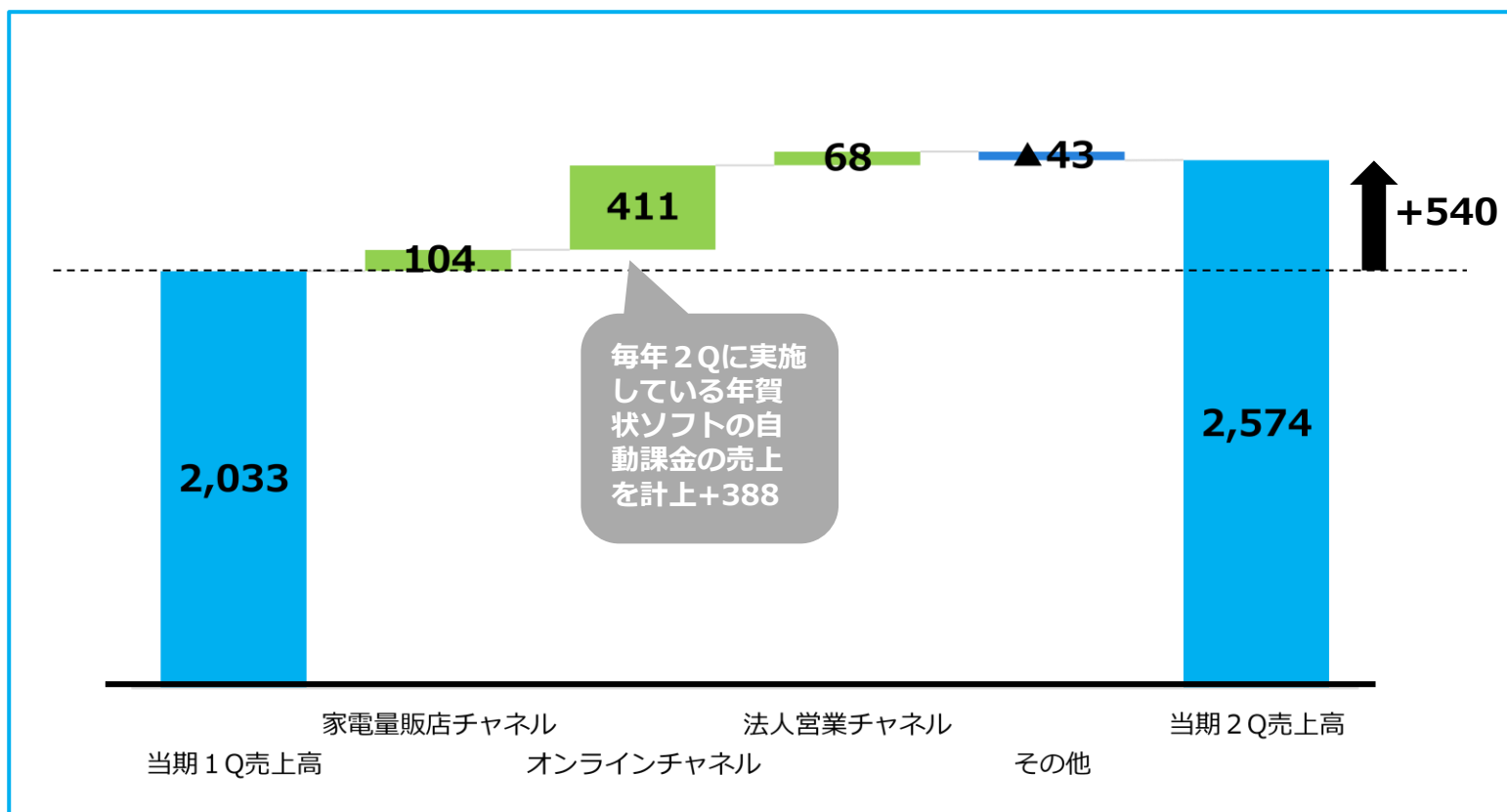
※ 四半期純利益：親会社株主に帰属する四半期純利益

※ 前期より企業会計基準第29号「収益認識に関する会計基準」を適用しております。

## 四半期比較（QoQ）売上ウォーターフォール（チャンネル別）

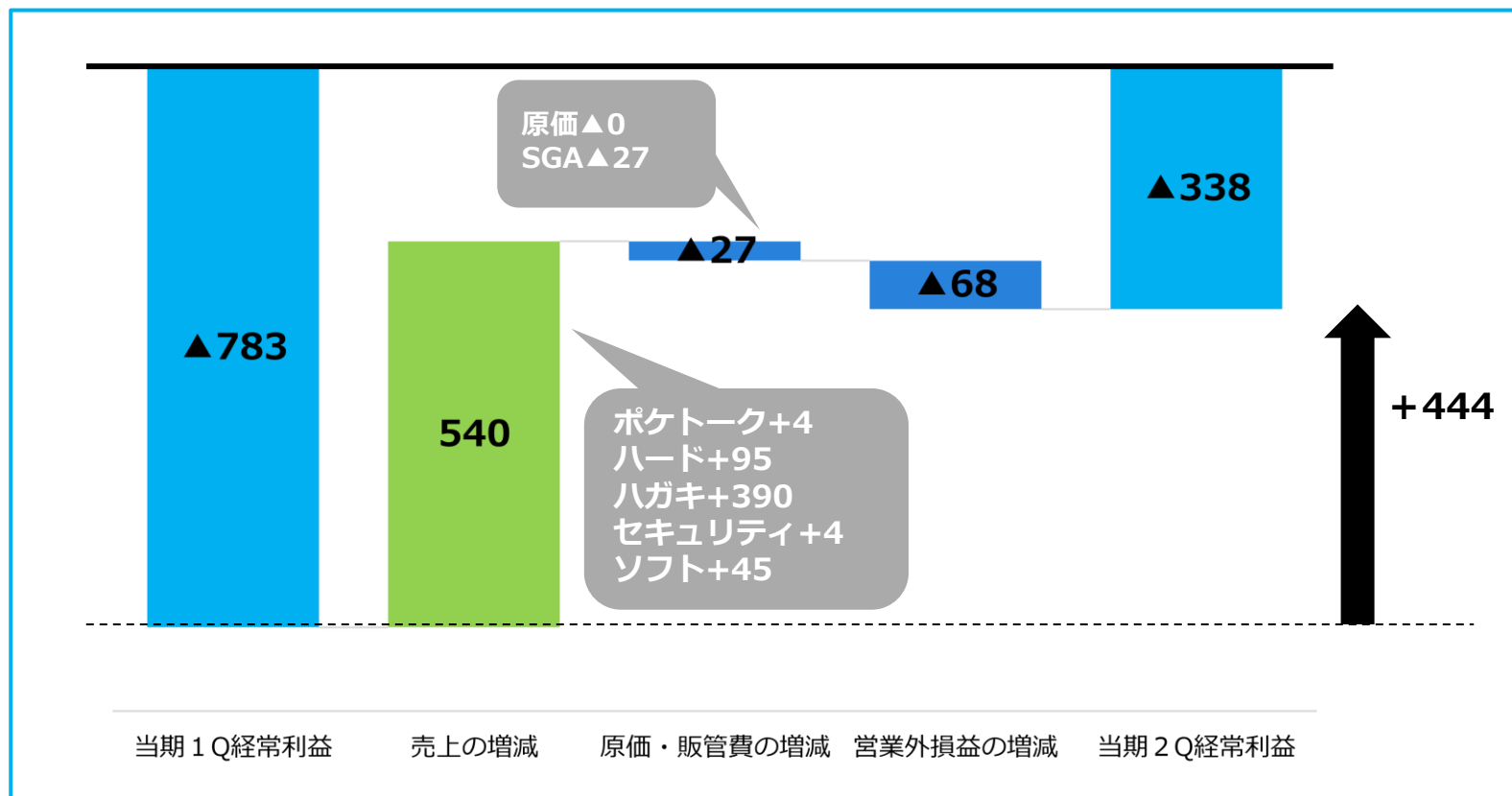
（単位：百万円）

■ 増加 ■ 減少

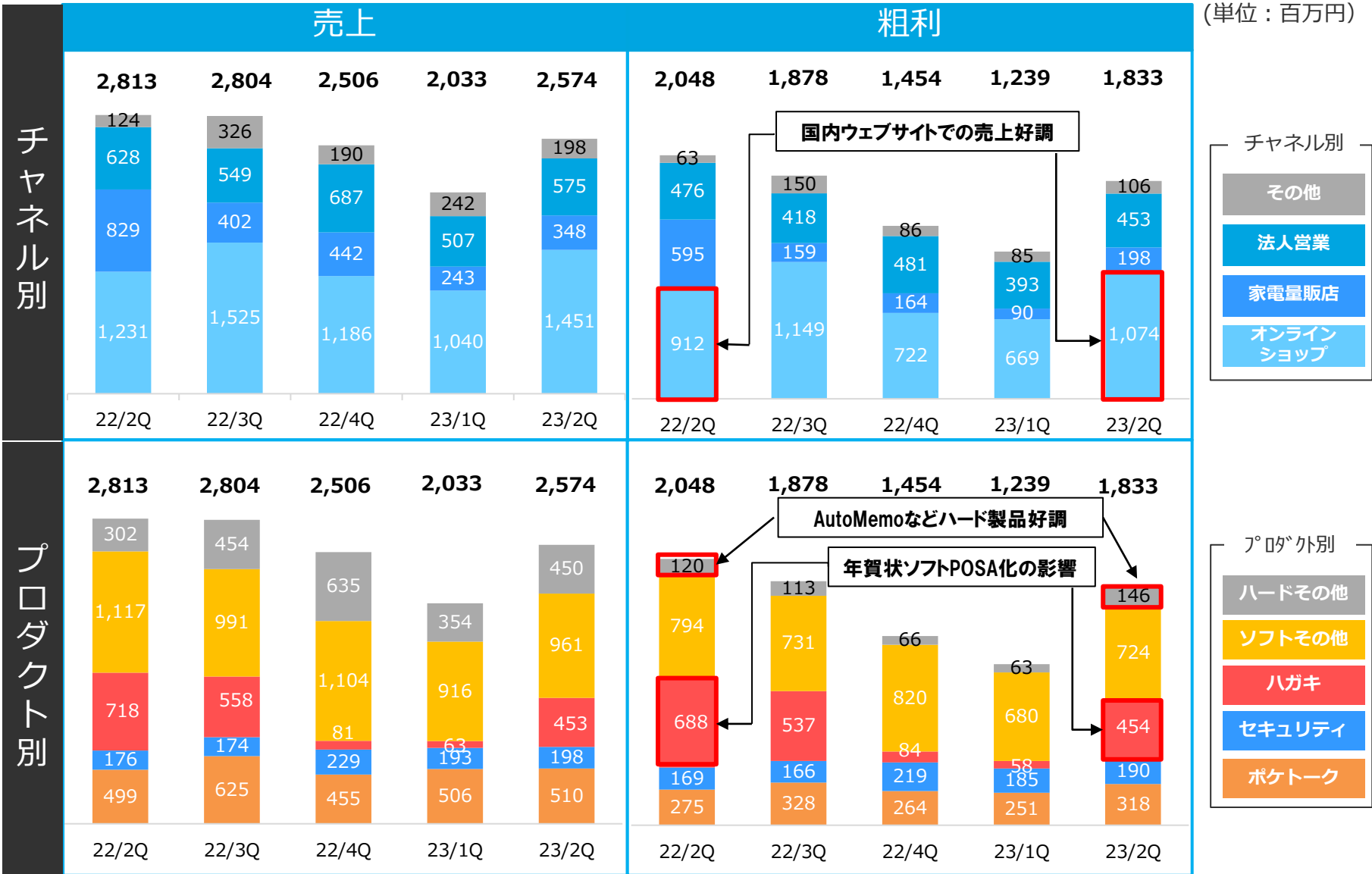


## 四半期比較 (QoQ) 経常利益ウォーターフォール

(単位：百万円)

■ 増加 ■ 減少


※ 増加・減少は利益に対しての影響です。



※ 粗利は各製品・チャネルに直課できない開発費等の共通費を除いており、売上総利益とは一致しません。  
 ※ 前期より企業会計基準第29号「収益認識に関する会計基準」を適用しております。  
 ※ 従来「家電量販店」に区分しておりました他社オンラインショップ販売を当期より「自社オンラインショップ」に追加し、名称を「オンラインショップ」に変更しております。このため、前期との比較については、変更後の数値に組み替えて比較を行なっています。

## 予算比較 PL

(単位：百万円)

	2023年3月期 上期予算	2023年3月期 上期実績	上期予算			
			増減金額	増減率		
① 売上	5,015	4,608	▲407	▲8.1%		↓
② 営業利益	▲1,225	▲1,304	▲79	▲6.4%		↓
営業利益率	▲24.4%	▲28.3%	-	▲3.9pt		↓
③ 経常利益	▲1,275	▲1,120	+155	+12.2%		↑
経常利益率	▲25.4%	▲24.3%	-	+1.1pt		↑
四半期純利益	▲1,225	▲1,063	+162	+13.2%		↑
四半期純利益率	▲24.4%	▲23.1%	-	+1.3pt		↑

※ 四半期純利益：親会社株主に帰属する四半期純利益

※ 前期より企業会計基準第29号「収益認識に関する会計基準」を適用しております。









①PC市場の縮小に起因するソフトウェア需要の減衰

②SGAの削減により営業利益は79百万円下振れでの着地

③円安による為替差益の影響で経常利益は155百万円増加での着地

## 連結BS

(単位：百万円)

	2022年3月末	2022年9月末	前期比	
			増減金額	増減率
流動資産	12,846	10,326	▲2,520	▲19.6% 
うち現金及び預金	5,451	3,564	▲1,886	▲34.6% 
固定資産	7,134	7,243	+108	+1.5% 
総資産	19,981	17,570	▲2,411	▲12.1% 
流動負債	8,256	7,036	▲1,220	▲14.8% 
固定負債	1,765	1,547	▲218	▲12.4% 
純資産	9,959	8,986	▲972	▲9.8% 
自己資本比率	48.0%	49.2%	-	+1.2pt 

ポケトーク社増資により50%超に。

1. ハイライト

2. 事業の近況

3. 今後の事業戦略

4. 補足資料

# AutoMemoの近況





# 文字起こしAIボイスレコーダー「AutoMemo S」

① 認識精度の大幅改善(従来75%→新90%)

② 製品評価の向上

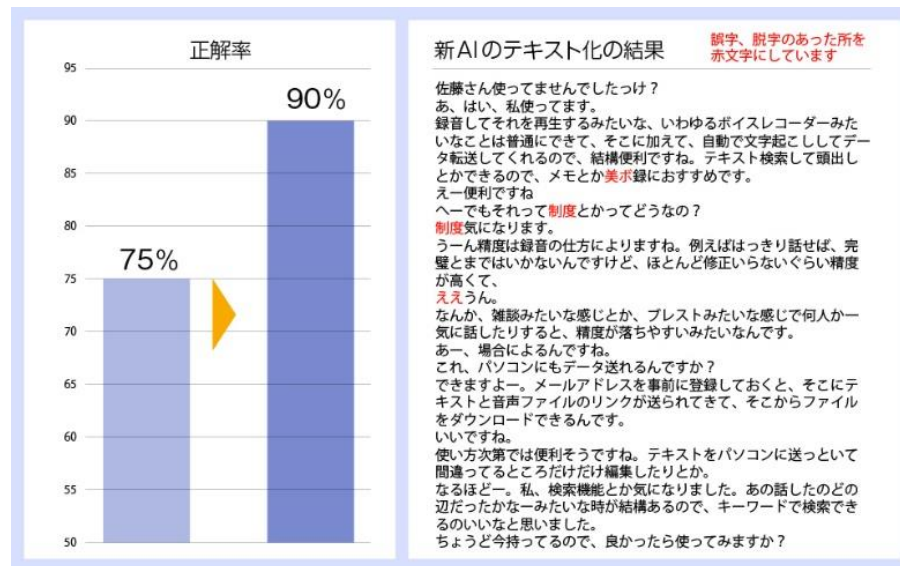
家電批評 2022年12月号BEST BUY OF THE YEAR

AIボイスレコーダー部門 1位に選出



・販売実績の上昇

AutoMemo Sの発売以降、販売実績好調  
AutoMemoシリーズの売上高 前期比324%



# 文字起こしAIボイスレコーダー「AutoMemo S」

## ■ 今後の事業戦略

- ・サブスク型テキスト化サービスを拡大

2022年8月のオートメモ専用アプリの録音機能追加により、AutoMemo Sの発売前の2021年12月と比べユーザー数は172%増加  
2022年10月時点で累計アカウント数40,000アカウントを突破  
サブスク型テキスト化サービスの加入数も順調に増加



【これまで】  
音声の録音にはAutoMemo専用端末が必要

【これから】  
専用端末不要で、お手持ちのスマートフォンをつかって録音できる新機能をアプリに搭載

# ポケトークの近況

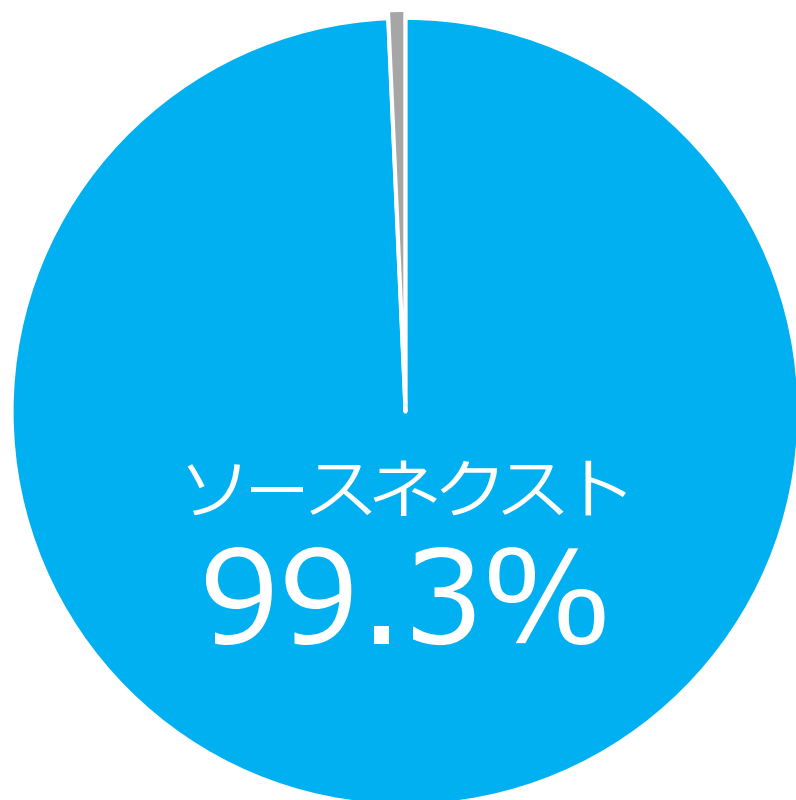
**POCKETALK.**



## ミッション

言葉の壁をなくす

## 2022年9月「翻訳機」月間販売金額シェア



4年10ヶ月連続販売金額シェア

第1位

21年9月  
90万台突破

出典：「電子手帳・辞書」から「翻訳機」を抽出、  
第三者機関による全国の有力家電量販店の販売実績をもとに自社集計

# 米国でのポケットーク展開インダストリー

## POCKETALK™

**Logistics &  
Distribution**

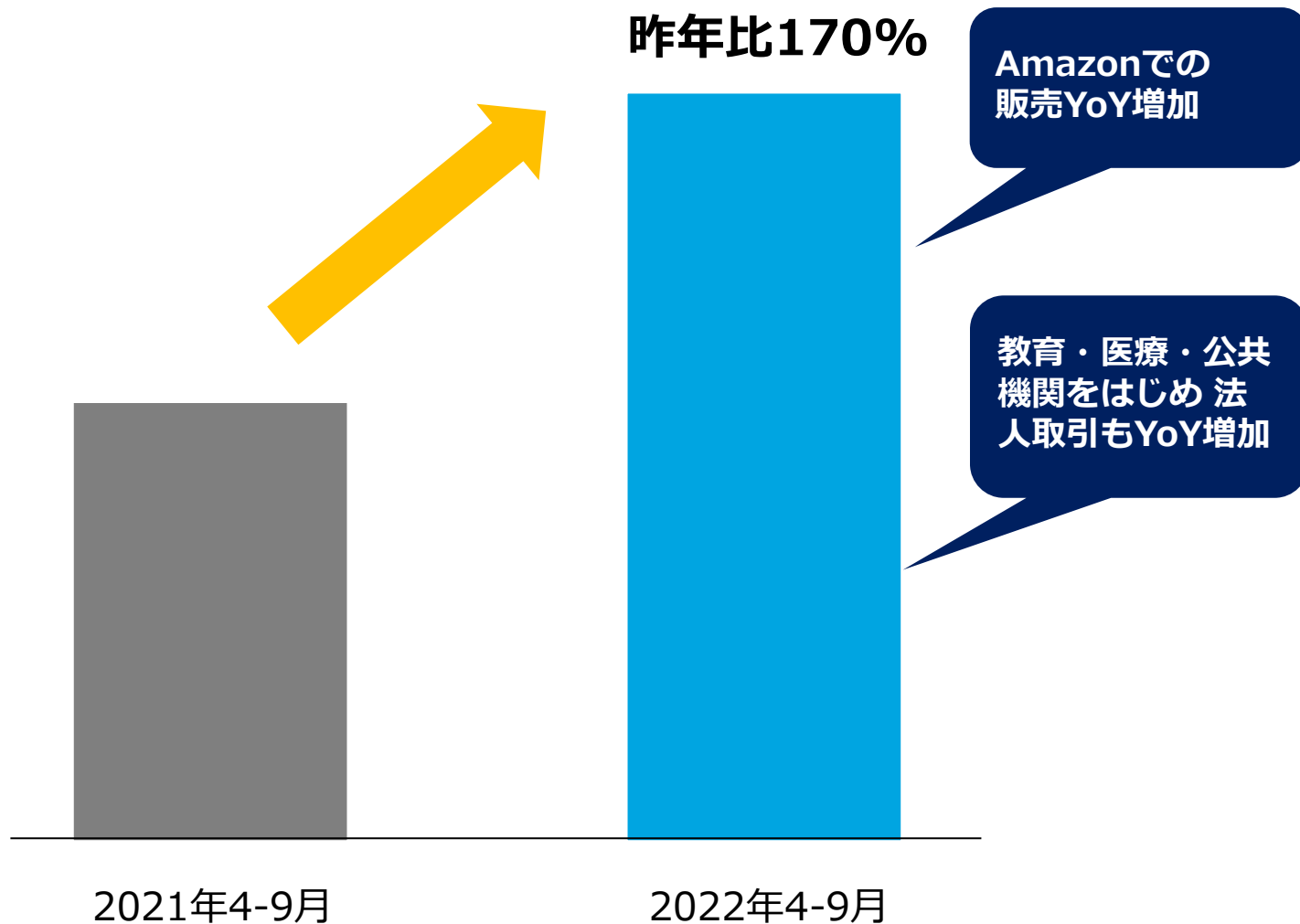
**Healthcare**

**Education**

**Government**

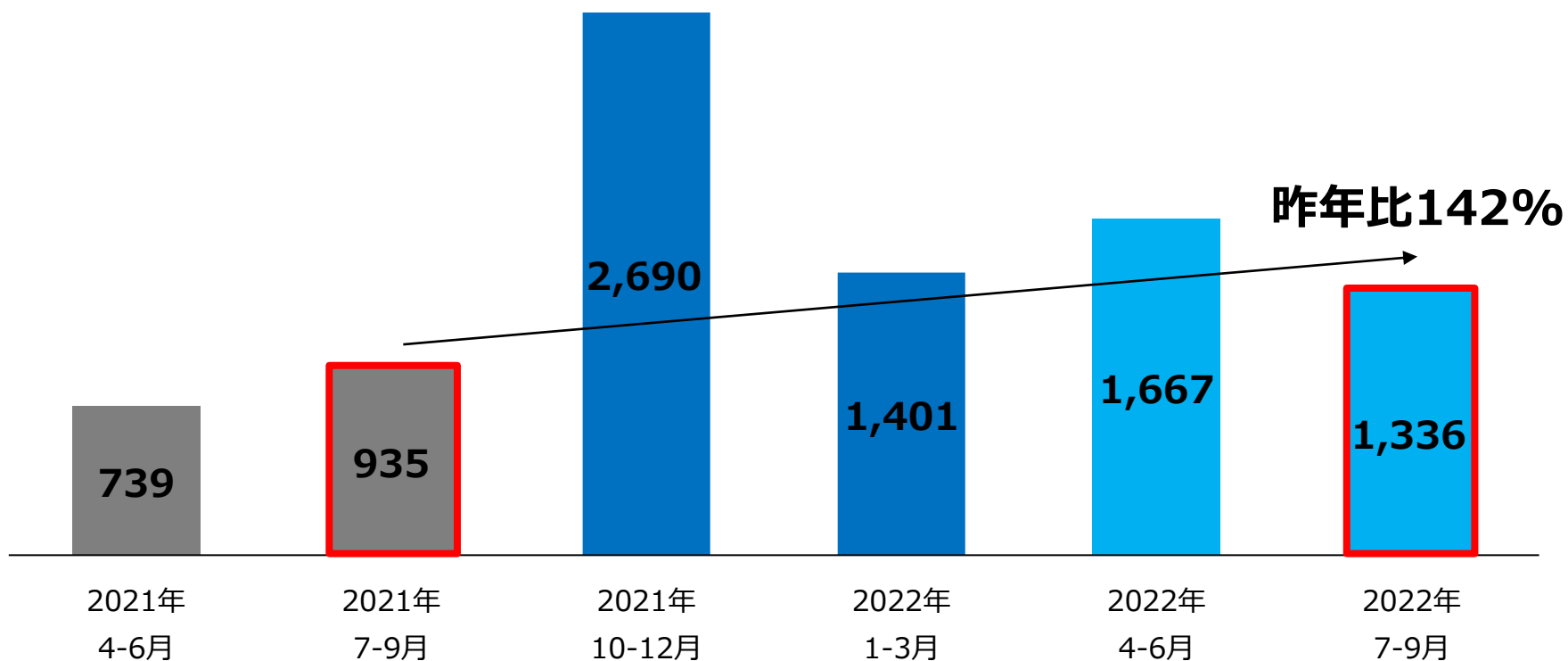
**Travel &  
Entertainment**

## 米国でのポケットーク販売台数



## 米国でのポケットーク売上高

(単位：千USD)

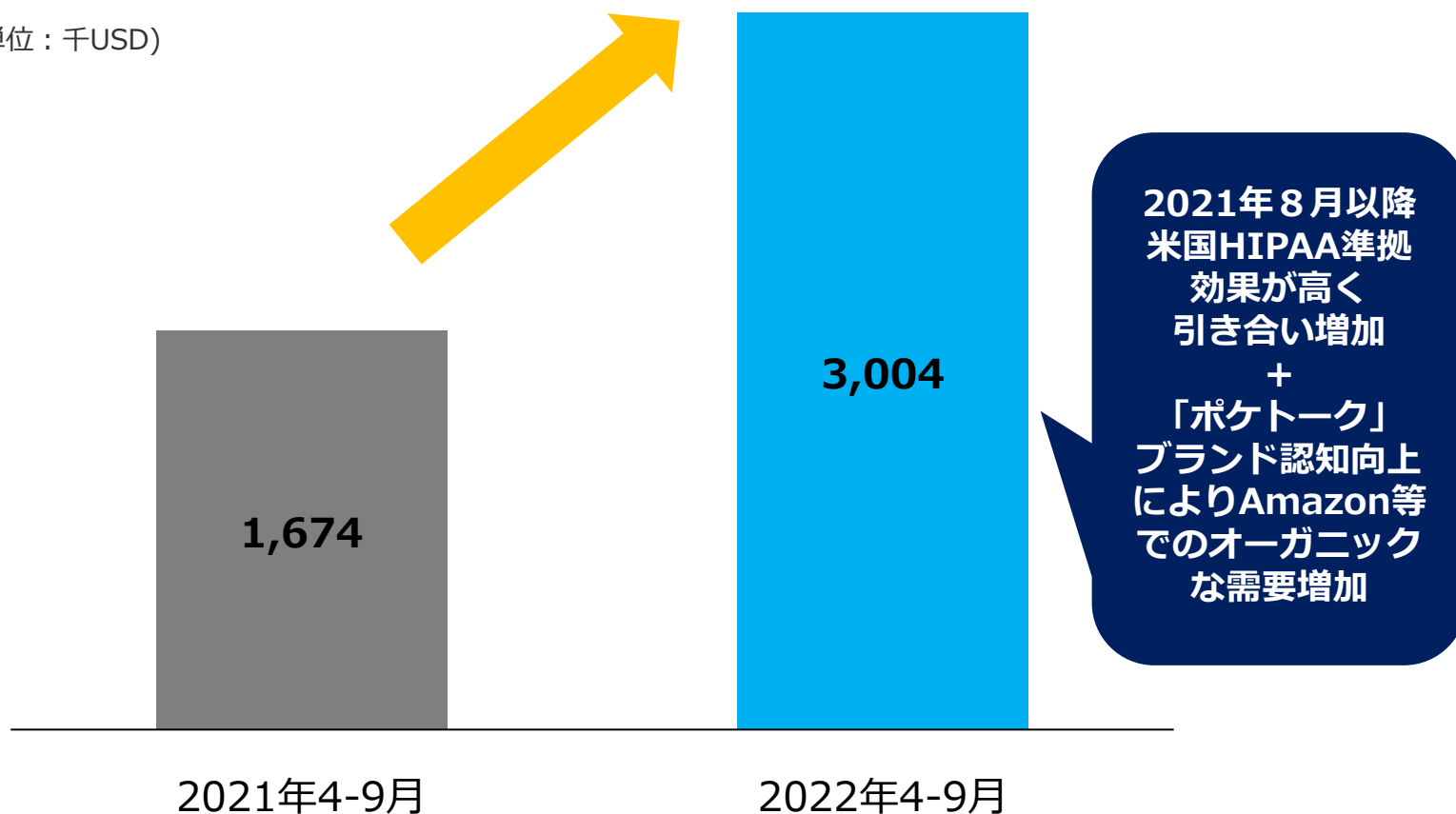




## 米国でのポケットーク売上高

昨年比179%

(単位：千USD)



# 「ポケットークアプリ」 グローバルリリースの発表 世界26の国と地域にて販売開始



世界中の人々に、より手軽かつ身近にお使いいただけるよう、北米・中南米、ヨーロッパ諸国、APAC など、新たに世界 26 の国と地域で提供を開始。  
今後のインバウンド・アウトバウンドの復活に備える。

1. ハイライト

2. 事業の近況

**3. 今後の事業戦略**

4. 補足資料

2023年3月期の通期連結業績予想は以下の通りであり、見通しに変更はありません。

(単位：百万円)

	2023年3月期 通期		
	連結	ソースネクスト社	ポケットーク社
売上	12,795	10,100	2,695
営業利益	▲850	485	▲1,335
経常利益	▲945	450	▲1,395
当期純利益	▲995	310	▲1,395
EPS(円)	▲7.34		
年間配当金 (円)	-		

- ※ 当期純利益：親会社株主に帰属する当期純利益（ソースネクスト社及びポケットーク社については「当期純利益」）
- ※ EPS：1株あたり当期純利益
- ※ ソースネクスト社の数字は連結会社間の内部取引等を消去した後の金額です。
- ※ ポケットーク社の数字はポケットーク社+Inc+BVの合算値であり、連結会社間の内部取引等を消去した後の金額です。
- ※ 当期純利益について連結数字と内訳合算値との差額は非支配株主に帰属する当期純利益です。
- ※ 上記の予想は、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した見通しであり、リスクや不確実性を含んでおります。

## 下期の主要な施策

1

水際対策の撤廃、新製品発売、法人需要獲得等によるポケットーク事業の急速な回復

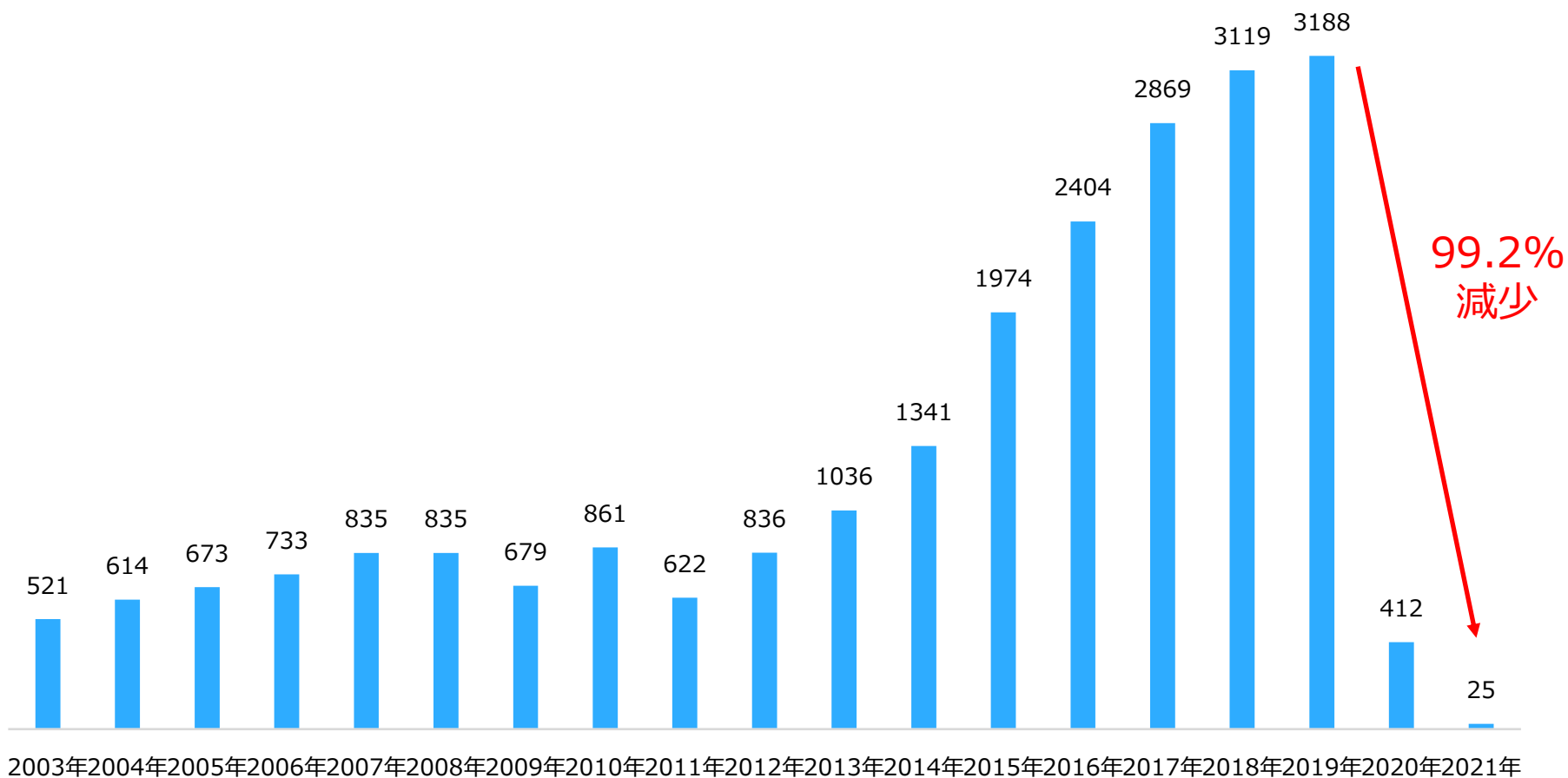
2

年末年始に向けた年賀状ソフトの店頭及びオンラインチャンネルでの販売増

3

Owl/CAMの360度カメラ、AutoMemo、いきなりPDFなど、法人ニーズのある製品に注力

## 訪日外国人旅行者数の推移



2021年は2019年と比較して99.2%減少

## 2022年10月11日 水際対策規制の完全撤廃

短期滞在者の  
ビザ取得免除

入国者数の  
上限撤廃

個人旅行の解禁

インバウンド・アウトバウンド需要の急速な改善

## インバウンド需要の回復

### A N Aホールディングス

会見した芝田浩二社長は国際線について、今年度末に**新型コロナウイルス前の6割まで需要が回復する**みていることを明らかにした。**12月までの予約が想定以上で、「上振れ要素は十分ある」と語った。**



# POCKETALK

累計調達金額

# 30.1億円



2022年11月14日  
ポケットーク社にて  
以下の投資元4社より16億円の追加資金調達を実施

エクコムグローバル株式会社

株式会社コーエーテクモキャピタル

DIMENSION2号合同会社

フォースタートアップスキャピタル  
合同会社

## さまざまな「言葉の壁」

訪日観光での  
「言葉の壁」

+

今後取り組むべき「言葉の壁」

労働現場

グローバル展開

人道支援

## ポケットークコンソール



デバイスリスト



レポート



分析



分析

端末の分析・管理コンソールを  
10月4日よりグローバルで提供開始

ポケットーク端末の利用データを、社内コミュニケーションや  
従業員満足度向上の促進に利用したいという  
大企業法人様のニーズをもとに開発

2022年10月12日  
ポケットーク字幕の拡張版である新製品  
「ポケットーク同時通訳」を発表

今冬提供開始予定

# ポケットーク同時通訳

特許出願中

## 「ポケットーク同時通訳」の主な特徴



日本語で伝える

日本語を聞いて理解する

**文字に加え音声でも翻訳される**

- ・相手の話す英語を 70 言語の音声と字幕でリアルタイムに理解
- ・英語を短く区切ってユーザーが選ぶ言語に翻訳し音声でも発話するため、まるで専属の同時通訳者がいるように相手の話がわかる
- ・オンラインだけでなく、対面でも利用可能
- ・ポケットーク字幕の拡張版の製品のため、リモート会議で話したことを翻訳して画面に字幕を表示することももちろん可能

# 「ポケットーク同時通訳」の利用シーン



オンライン会議



対面会議



動画視聴



セミナー

対面・オンラインなど、さまざまなシーンで活躍

## 「ポケットーク字幕」との比較

		ポケットーク字幕	ポケットーク同時通訳
話す・伝える	文字	○	○
聞く・理解する	音声	×	○
	文字	×	○
利用シーン	オンライン会議	△ 会議相手もインストール	○ 翻訳を必要とする側のみインストール
利用シーン	対面会議	×	○
	動画配信	○	○
	動画視聴	×	○
	セミナー	○	○
対応OS	Windows	○ (10 64bit、11)	○ (10 64bit、11)
	Mac	○ (Mojave10.14以上)	○ (Mojave10.14以上)
翻訳対応言語		音声入力：83言語のテキスト翻訳 テキスト入力：115言語のテキスト翻訳	字幕表示機能 音声入力：83言語のテキスト翻訳 テキスト入力：115言語のテキスト翻訳 同時通訳機能 英語から70言語への音声とテキスト翻訳

## グローバル展開



米国・ヨーロッパに加え、アジアの販路を開拓





1. ハイライト

2. 事業の近況

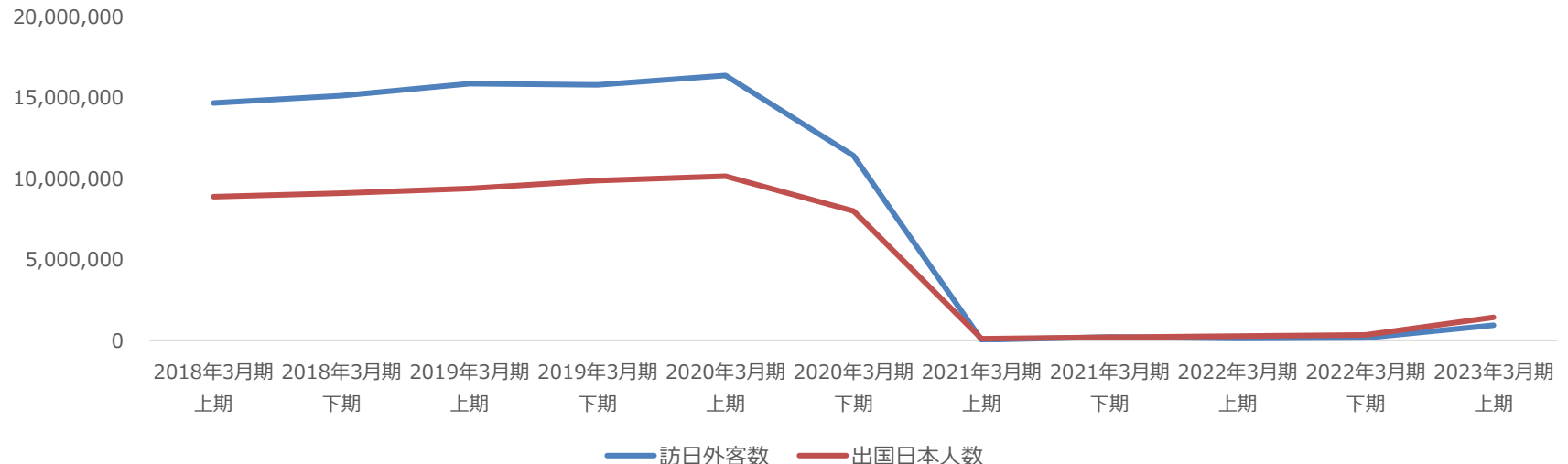
3. 今後の事業戦略

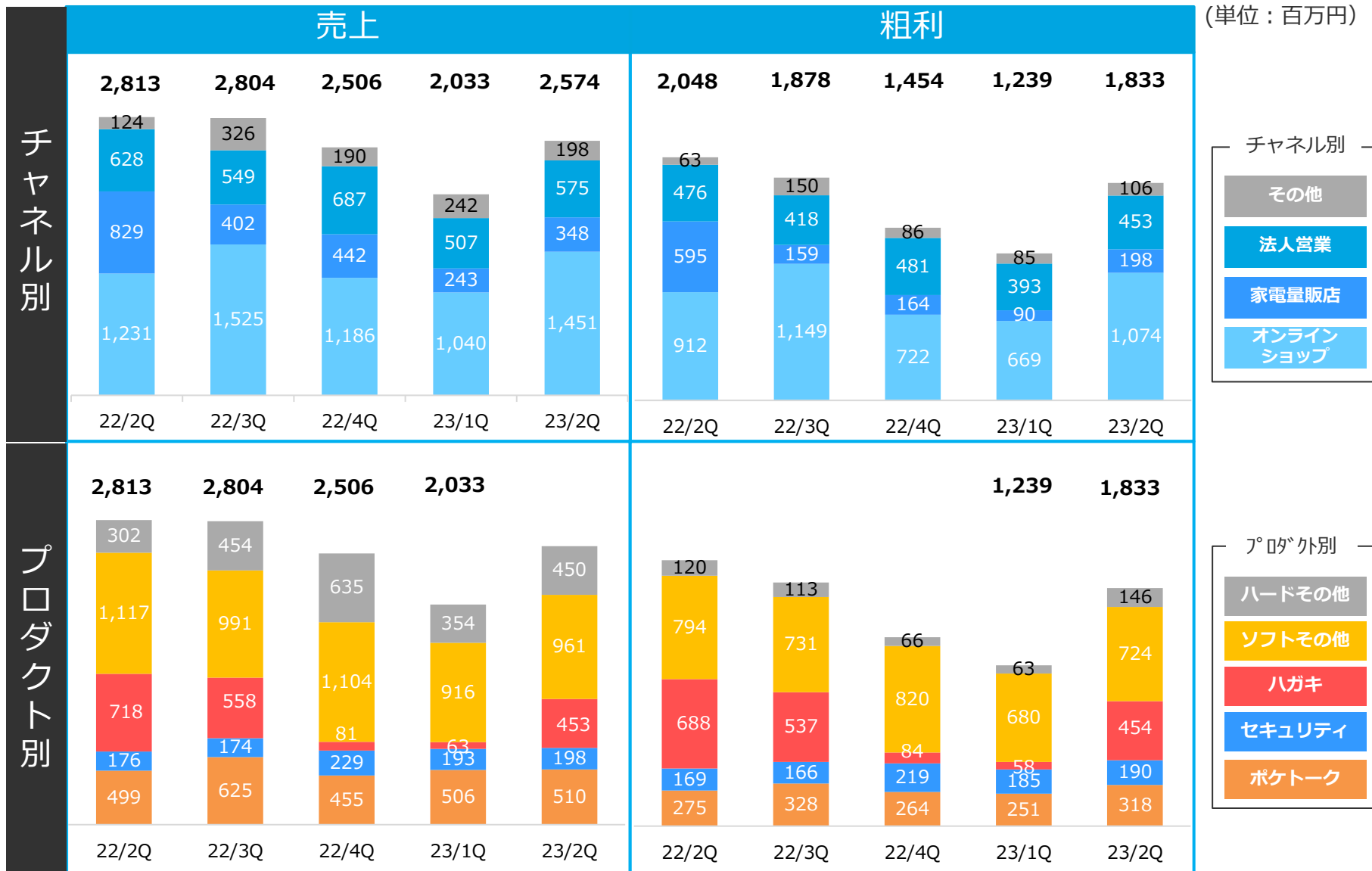
4. 補足資料

## 出入国者数

(単位：人)		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
訪日外客数	2017年	2,295,668	2,035,771	2,205,664	2,578,970	2,294,717	2,346,442	2,681,518	2,477,428	2,280,406	2,595,148	2,378,079	2,521,262
	2018年	2,501,409	2,509,297	2,607,956	2,900,718	2,675,052	2,704,631	2,832,040	2,578,021	2,159,595	2,640,610	2,450,751	2,631,776
	2019年	2,689,339	2,604,322	2,760,136	2,926,685	2,773,091	2,880,041	2,991,189	2,520,134	2,272,883	2,496,568	2,441,274	2,526,387
	2020年	2,661,022	1,085,147	193,658	2,917	1,663	2,565	3,782	8,658	13,684	27,386	56,673	58,673
	2021年	46,522	7,355	12,276	10,853	10,035	9,251	51,055	25,916	17,720	22,113	20,682	12,084
	2022年	17,766	16,719	66,121	139,548	147,046	120,430	144,578	169,800	206,500			

(単位：人)		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
出国日本人数	2017年	1,295,059	1,493,399	1,745,412	1,234,921	1,317,742	1,336,169	1,480,718	1,888,071	1,622,694	1,459,083	1,546,985	1,469,039
	2018年	1,423,727	1,390,518	1,807,063	1,356,679	1,383,847	1,421,649	1,557,980	2,033,435	1,630,088	1,646,230	1,673,473	1,629,345
	2019年	1,452,157	1,534,792	1,929,915	1,666,546	1,437,929	1,520,993	1,659,166	2,109,568	1,751,477	1,663,474	1,642,333	1,712,319
	2020年	1,380,762	1,316,820	272,697	3,915	5,539	10,663	20,295	37,137	31,606	31,049	30,703	33,033
	2021年	48,691	24,807	28,896	35,905	30,121	30,666	43,184	66,051	52,366	50,841	51,774	48,942
	2022年	74,982	46,932	70,678	129,168	134,013	171,529	277,945	386,400	319,200			












※ 粗利は各製品・チャネルに直課できない開発費等の共通費を除いており、売上総利益とは一致しません。

※ 前期より企業会計基準第29号「収益認識に関する会計基準」を適用しております。

※ 従来「家電量販店」に区分しておりました他社オンラインショップ販売を当期より「自社オンラインショップ」に追加し、名称を「オンラインショップ」に変更しております。このため、前期との比較については、変更後の数値に組み替えて比較を行なっています。

## 予算比較 PL

(単位：百万円)









	2023年3月期 上期予算	2023年3月期 上期実績	上期予算		
			増減金額	増減率	
売上	5,015	4,608	▲407	▲8.1%	
営業利益	▲1,225	▲1,304	▲79	▲6.4%	
営業利益率	▲24.4%	▲28.3%	-	▲3.9pt	
経常利益	▲1,275	▲1,120	+155	+12.2%	
経常利益率	▲25.4%	▲24.3%	-	+1.1pt	
四半期純利益	▲1,225	▲1,063	+162	+13.2%	
四半期純利益率	▲24.4%	▲23.1%	-	+1.3pt	

※ 四半期純利益：親会社株主に帰属する四半期純利益

※ 前期より企業会計基準第29号「収益認識に関する会計基準」を適用しております。

## 連結BS

(単位：百万円)

	2022年3月末	2022年9月末	前期比	
			増減金額	増減率
流動資産	12,846	10,326	▲2,520	▲19.6% 
うち現金及び預金	5,451	3,564	▲1,886	▲34.6% 
固定資産	7,134	7,243	+108	+1.5% 
総資産	19,981	17,570	▲2,411	▲12.1% 
流動負債	8,256	7,036	▲1,220	▲14.8% 
固定負債	1,765	1,547	▲218	▲12.4% 
純資産	9,959	8,986	▲972	▲9.8% 
自己資本比率	48.0%	49.2%	-	+1.2pt 

# 次の常識をつくる

We Source What's Next.



本資料のいかなる情報も、弊社株式の購入や売却などを勧誘するものではありません。  
また、本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点での弊社の判断であり、その情報の正確性を保証するものではなく、今後、予告なしに変更することがあります。万が一この情報に基づいて被ったいかなる損害についても、弊社および情報提供者は一切責任を負いませんので、ご了承ください。